

国道209号 上原々交差点改良事業

概要

本事業は、右折レーンの設置及び歩道の整備を実施することにより、交差点における事故防止及び児童を含む歩行者等の安全・安心な歩行空間を確保するものです。

現状

当該箇所は、国道209号と市道上原々熊野線・上原々焼却場線が交わる交差点であるが交差点に右折レーンがないため、右折滞留に伴う直進阻害及び追突事故等が発生している状況です。また、近傍に松原(まつばら)小学校が立地し、交安法第3条に基づく通学路に指定されていますが、歩道が狭小で児童を含む歩行者等の安全が確保されていない状況です。

今後

平成29年度は、調査設計及び関係機関協議を推進します。

整備効果

歩道整備により、安心・安全な歩行空間の確保を図ります。
【死傷事故率(H23～H26)：325件/億台キロ】

【位置図】

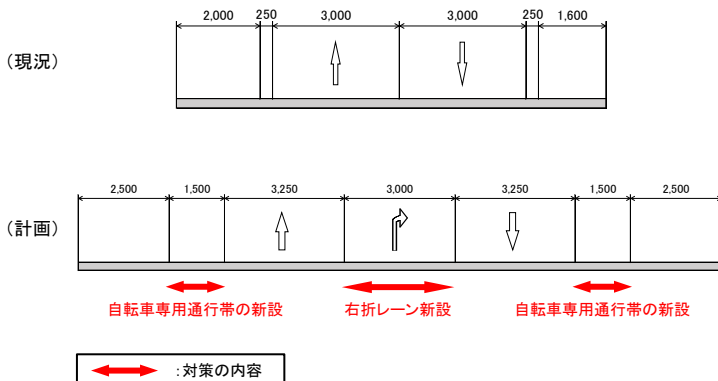


【位置平面図】



「この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。」

【横断面図】



【整備前状況写真】

